

# スミダコーポレーション株式会社

## 2024年12月期第4四半期及び通期決算説明資料

2025年2月10日

- 1. 業績概要（FY2024.4Q & 通期）**
- 2. 中期経営計画2024-2026の進捗について**
- 3. FY2025 業績予想 / 配当予想**
- 4. Appendices**

- 1. 業績概要（FY2024.4Q & 通期）**
2. 中期経営計画2024-2026の進捗について
3. FY2025 業績予想 / 配当予想
4. Appendices

売上高	通期	1,439	億円	(YoY -2.5%)
営業利益	通期	45	億円	(YoY -47.3%)

欧州における事業構造改革費用として、4Qに10.8億円を費用計上。

## 環境：

3期連続となる最高益更新を計画し、獲得済み案件への供給責任を果たすために設備及び人員を増強。

しかしながら、外部環境の変化を受けて、欧米における獲得済み大型案件が後ろ倒しとなるなど当社のxEV関連等への需要が減退。

- ✓ xEV市場における政府補助金支給要件の厳格化
- ✓ 金利の高止まりによる、消費者の不動産投資意欲の減速
- ✓ 中国経済低迷の長期化等による影響

## 対応：

全社を挙げて経費の抑制に努めたものの、減収による影響を完全に吸収することは難しいと判断したため、7月31日にやむなく業績予想を下方修正。

その後も需要の減退が続き、特に欧州における厳しい市場環境は当面続くと見られたため、大胆な構造改革を速やかに実施する必要があると判断。

欧州における事業構造改革費用と、更なる減収により見込まれた影響を織り込み、12月13日に再度、業績予想を下方修正。

全社を挙げた経費抑制の継続に加えて、売上に直結する新製品・増産投資については従来通り継続しながら、それ以外の設備投資を可能な限り後ろ倒しにした。

# 業績概要 (地域別・市場別売上・グリーンエネルギー関連売上)



	地域別		市場別		グリーンエネルギー関連売上			
	FY24 YoY		FY24 YoY			FY24 YoY		
Asia - Greater China	367億円	+5.9%	車載	878億円	+1.2%	xEV - 車載	203億円	+1.3%
Asia - Others	226億円	-10.1%	インダストリー	363億円	-9.5%	xEV - インダストリー (急速充電器)	101億円	+25.8%
North America	266億円	+8.2%	家電	197億円	-4.4%	インダストリー - その他 (太陽光発電、蓄電池等)	84億円	-2.1%
Europe	579億円	-8.2%				合計	389億円	+5.9%
						売上高に占める割合	27.1%	+2.1pt

Asia	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>車載市場は、中国国内のxEV案件を収益性の観点から絞りながらも、ICE関連が増収となった結果、<b>367億円 (YoY +4.0%)</b> で着地。</li> <li>対して、中国経済低迷の長期化が見込まれるため、設備投資抑制に伴う産業機器関連の需要が停滞した結果、インダストリー市場は<b>88億円 (YoY -27.6%)</b>。</li> <li>家電市場はスマートフォン、パソコン関連需要が緩やかに回復した結果、<b>138億円 (YoY +11.6%)</b>の増収で着地。</li> </ul>
North America	↗	<ul style="list-style-type: none"> <li>車載市場は、ICE関連が微減となったものの、xEV関連が好調に推移した結果、<b>118億円 (YoY +5.8%)</b>の増収で着地。</li> <li>インダストリー市場はEV急速充電、蓄電池ビジネスが好調に推移した結果、<b>111億円 (YoY +35.0%)</b>の増収で着地。 太陽光発電、蓄電池等：<b>29億円 (YoY +170.5%)</b> / EV急速充電器：<b>62億円 (YoY +33.9%)</b></li> <li>家電市場は前期Q4から緩やかな回復を見せたものの最終的に<b>35億円 (YoY -29.9%)</b>。</li> </ul>
Europe	↘	<ul style="list-style-type: none"> <li>車載市場は補助金の縮減など市場環境向かい風の中、<b>392億円 (YoY -2.6%)</b>と健闘。</li> <li>インダストリー市場は前年度好調からの反動減に加えて、金利の高止まりによる投資意欲の減退の結果、<b>163億円 (YoY -16.9%)</b>と大幅に減収での着地。</li> <li>家電は<b>23億円 (YoY -26.0%)</b>の着地。</li> </ul>

グリーンエネルギー関連	↗	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期経営計画は年率 22%の成長を目指していたものの、世界全体の脱炭素化の動きの停滞により、<b>389億円 (YoY +5.9%)</b>の増収で着地。</li> <li>当社の今期売上高に占めるグリーンエネルギー関連売上の割合は<b>27.1%</b>であり、重要な収益源に成長。</li> <li>足元の市場環境は地域により差があるものの、新規案件の引合いが最も多い領域。</li> </ul>
-------------	---	---

\* 上記定量データは管理会計値 \* グループ販売会社の所在地別売上

		FY23		FY24		FY23		FY24		FY24
		4Q	3Q	4Q	前年同期比	直前四半期比	実績	実績	前年同期比	直近業績予想*1
		実績	実績	実績						
売上高	百万円	36,739	36,469	34,442	-6.3%	-5.6%	147,672	143,978	-2.5%	143,000
営業利益	百万円	1,149	1,773	407	-64.6%	-77.0%	8,564	4,513	-47.3%	4,000
税引前当期利益	百万円	386	951	-389	N/A	N/A	5,856	1,295	-77.9%	600
当期利益*2	百万円	702	755	-651	N/A	N/A	5,064	590	-88.3%	500
EPS*3	円	21.54	22.88	-19.70	N/A	N/A	167.46	17.96	-89.3%	15.2
営業利益率		3.1%	4.9%	1.2%	-1.9pt	-3.7pt	5.8%	3.1%	-2.7pt	2.8%
当期利益率		1.9%	2.1%	-1.9%	-3.8pt	-4.0pt	3.4%	0.4%	-3.0pt	0.3%

為替レート*4	米ドル	円	149.11	152.61	149.67	+0.4%	-1.9%	140.21	150.95	+7.7%	152.48
	ユーロ	円	159.57	166.14	162.04	+1.5%	-2.5%	151.37	163.78	+8.2%	160.36
	人民元	円	20.54	21.12	20.98	+2.1%	-0.7%	19.78	20.97	+6.0%	21.02
銅価格*5	USD/ton		8,169	9,204	9,178	+12.4%	-0.3%	8,483	9,144	+7.8%	9,539

\*1 2024年12月13日発表 通期連結業績予想

\*2 親会社の所有者に帰属する当期純利益

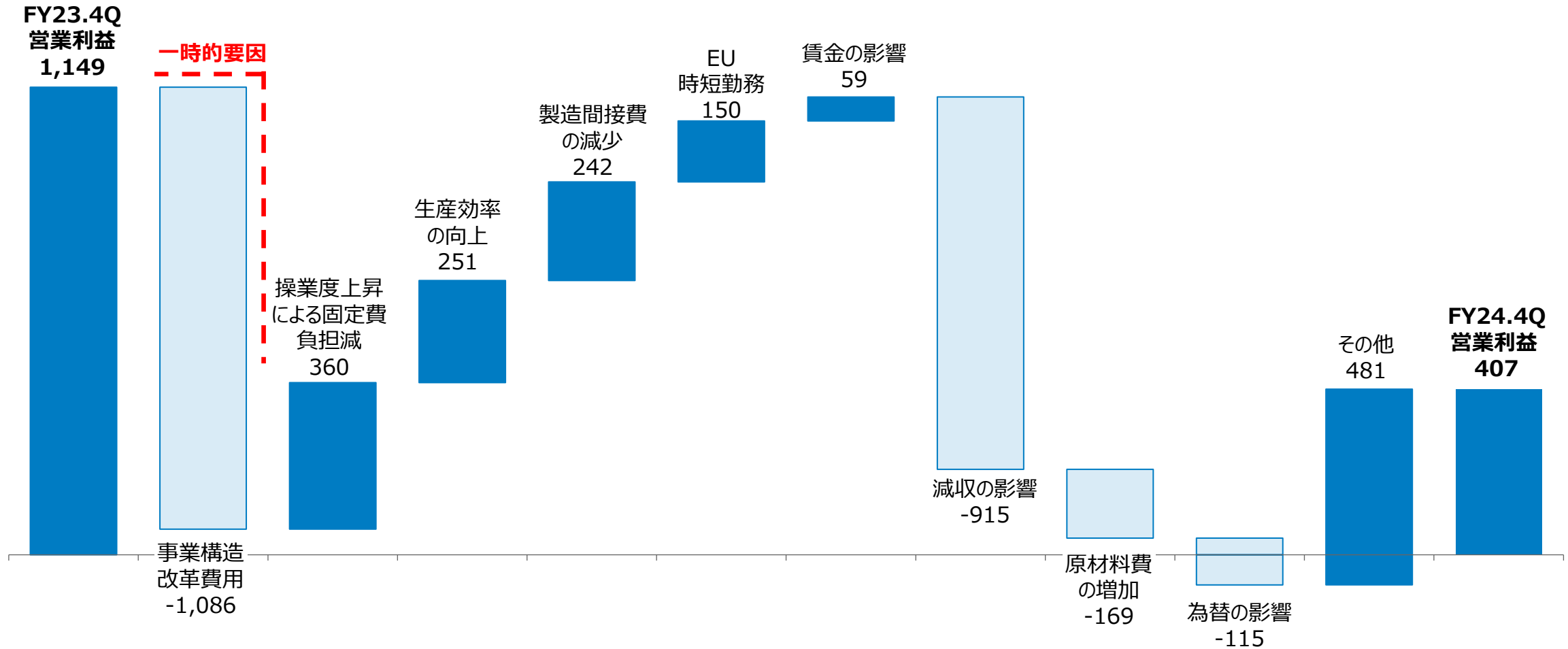
\*3 基本的1株当たり当期利益

\*4 期中平均為替レート

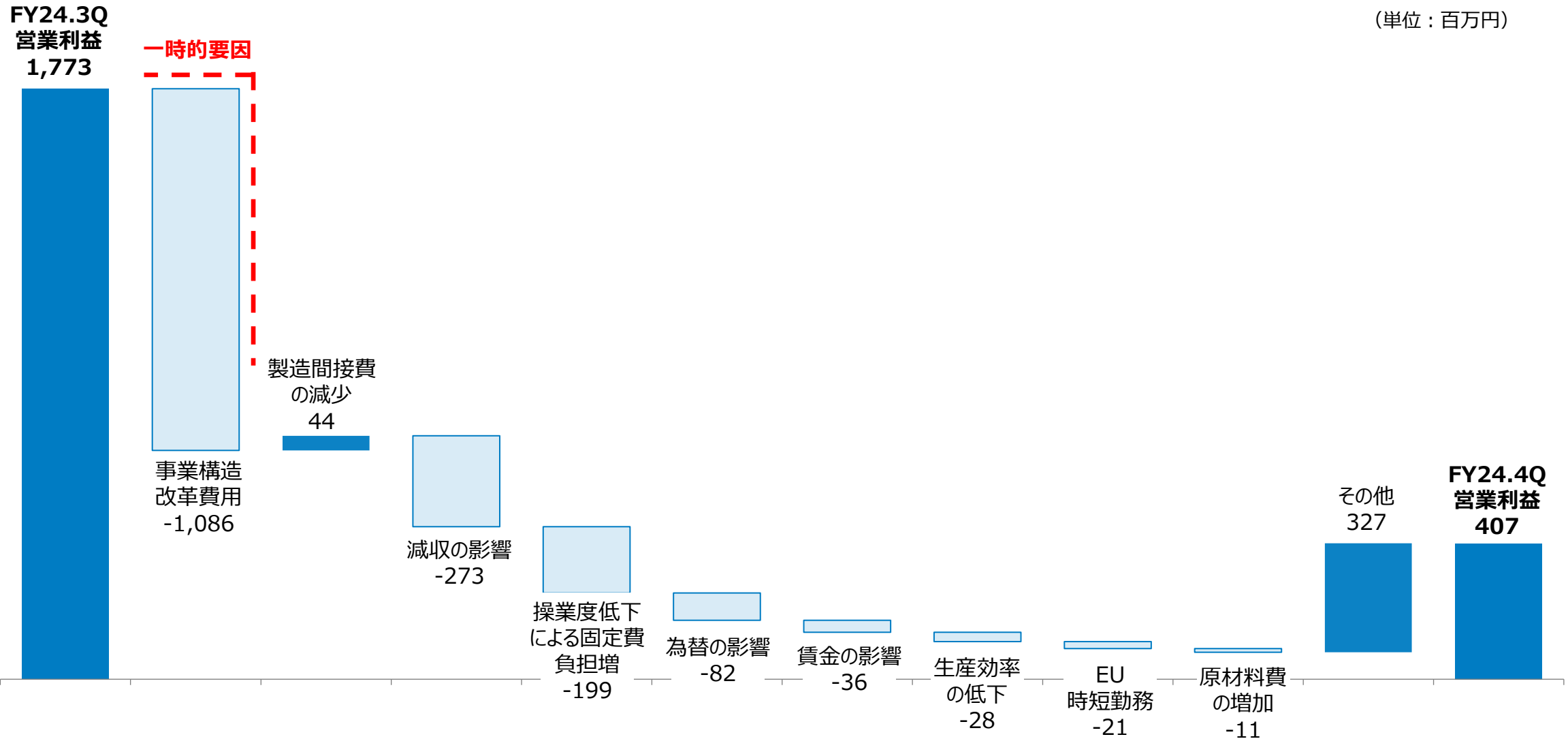
\*5 LME市況値（対象期間各月平均の単純平均） LME: London Metal Exchange ロンドン金属取引所

# 営業利益増減要因分析 (FY2023.4Q ⇔ FY2024.4Q)

(単位：百万円)



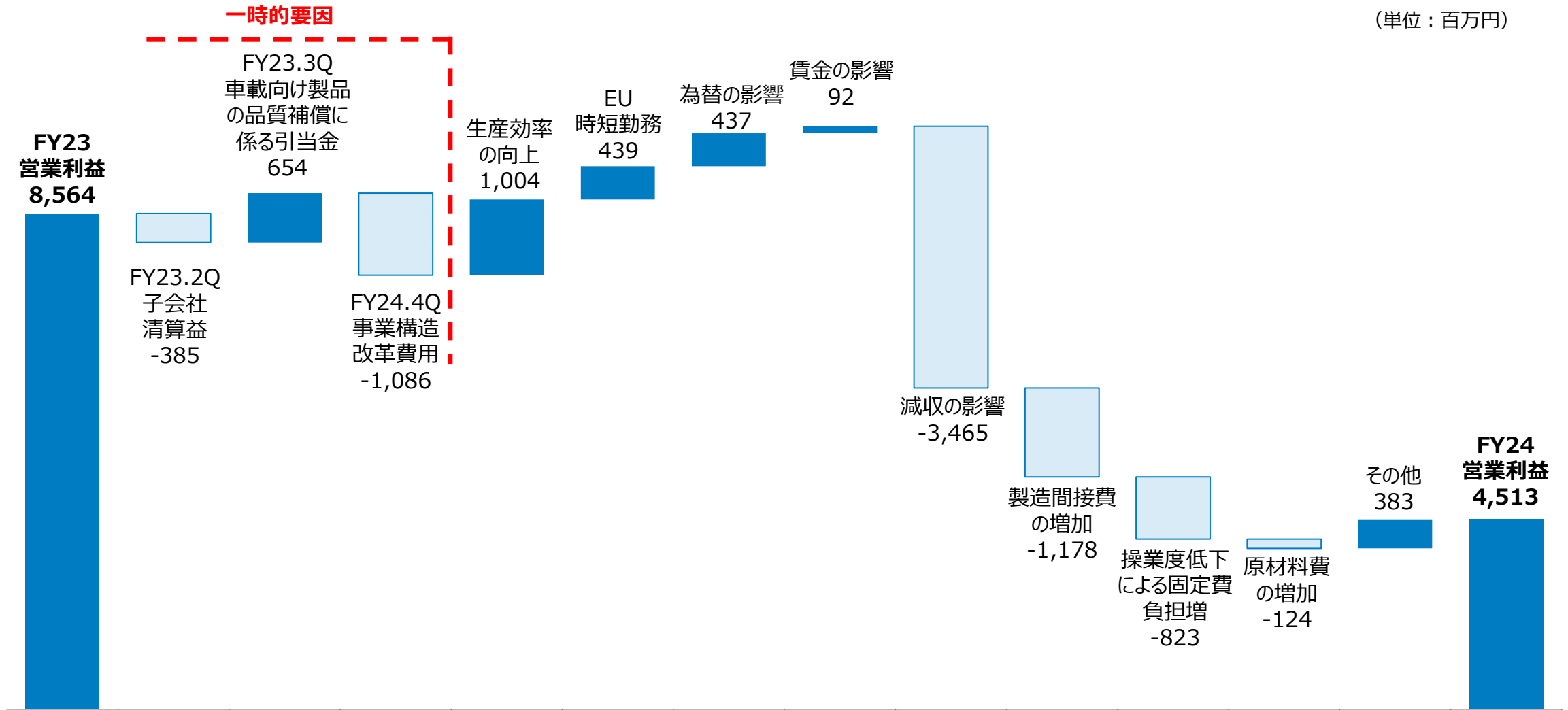
# 営業利益増減要因分析 (FY2024.3Q ⇔ FY2024.4Q)





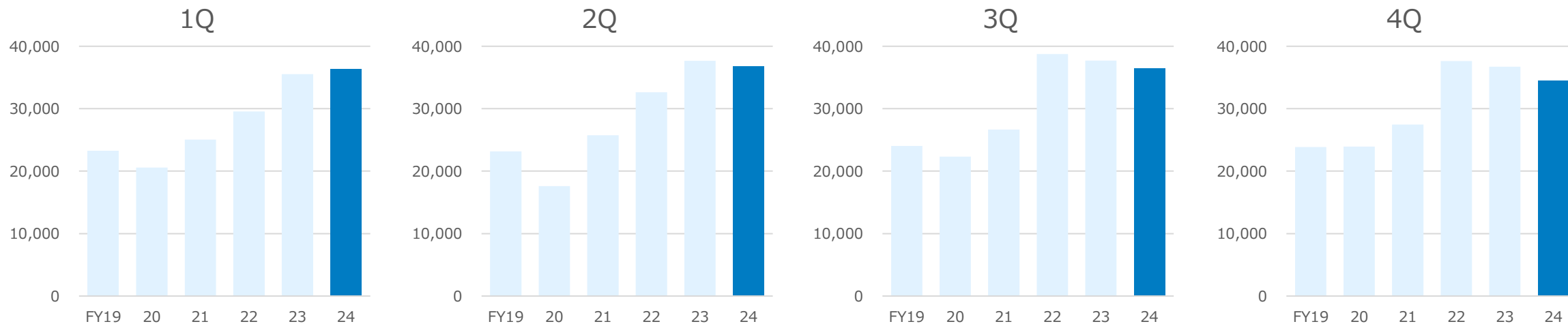
# 営業利益増減要因分析 (FY2023 ⇔ FY2024)

(単位：百万円)

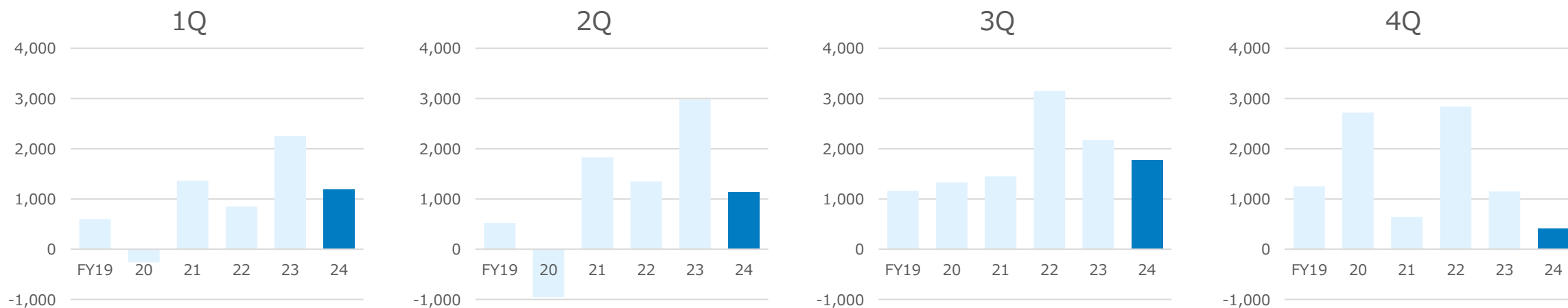


## 売上収益

(単位：百万円)



## 営業利益



		FY23 12月末	FY24 12月末	増減額
現金及び現金同等物	百万円	3,107	4,286	1,178
営業債権及びその他の債権	百万円	28,324	30,167	1,842
棚卸資産	百万円	29,209	29,350	141
その他の流動資産	百万円	7,006	5,867	-1,138
流動資産	百万円	67,648	69,672	2,023
有形固定資産	百万円	52,084	54,906	2,821
のれん	百万円	5,335	5,730	395
無形資産	百万円	7,404	7,722	317
その他の非流動資産	百万円	10,312	9,734	-578
非流動資産	百万円	75,137	78,094	2,956
資産合計	百万円	142,786	147,766	4,980

		FY23 12月末	FY24 12月末	増減額
営業債務及びその他の債務	百万円	15,036	14,960	-75
短期有利子負債	百万円	23,490	30,964	7,474
1年以内返済予定又は償還予定の長期有利子負債	百万円	7,856	5,459	-2,397
その他の流動負債	百万円	9,166	10,285	1,118
流動負債	百万円	55,550	61,669	6,119
長期有利子負債	百万円	20,030	16,004	-4,025
その他の非流動負債	百万円	9,893	9,177	-716
非流動負債	百万円	29,923	25,181	-4,742
負債合計	百万円	85,473	86,851	1,377
資本合計	百万円	57,312	60,915	3,603
負債及び資本合計	百万円	142,786	147,766	4,980

\*1 Net DEレシオ：（（短期銀行借入+1年内長期銀行借入+長期銀行借入）-現金及び現金同等物）/親会社所有者に帰属する持分合計

\*2 期中平均為替レート

流動比率		1.22	1.13
Net D/Eレシオ*1		0.88	0.82
CCC	日	91	95

為替レート*2	米ドル	141.51	156.15
	ユーロ	156.54	162.70
	人民元	19.90	21.34

		FY23	FY24	増減
税引前当期利益	百万円	5,856	1,295	-4,560
減価償却費及び償却費	百万円	9,361	11,022	1,660
運転資本の増減	百万円	6,352	818	-5,534
事業構造改革引当金の増減	百万円	0	1,027	1,027
その他	百万円	-3,227	765	3,992
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	18,343	14,928	-3,415
設備投資	百万円	-9,804	-7,860	1,944
その他	百万円	-897	-973	-75
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-10,702	-8,834	1,868

フリー・キャッシュ・フロー	百万円	7,641	6,094	-1,546
---------------	-----	-------	-------	--------

		FY23	FY24	増減
有利子負債の増減	百万円	-5,977	-2,214	3,763
株式発行	百万円	6,698	0	-6,698
配当金支払	百万円	-1,645	-1,771	-125
その他	百万円	-6,858	-1,283	5,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	-7,782	-5,268	2,513
現金及び現金同等物に係る換算差額	百万円	304	352	47
現金及び現金同等物の期首残高	百万円	2,944	3,107	163
現金及び現金同等物の期末残高	百万円	3,107	4,286	1,178

		FY23 12月末	FY24 12月末	増減
DSO (売上債権回転日数)	日	68	73	+5
DIO (在庫回転日数)	日	84	85	+1
DPO (仕入債務回転日数)	日	61	63	+2
CCC	日	91	95	+4

1. 業績概要（FY2024.4Q & 通期）
2. **中期経営計画2024-2026の進捗について**
3. FY2025 業績予想 / 配当予想
4. Appendices

- 外部環境の大幅な変化により売上は当初想定した1,586億円を大きく下回る1,439億円となった。
- カスタム製品の受注生産ビジネスなので、獲得した案件には供給責任が発生する。
  - 大幅な増収を見越して設備・人員を配置していたものの売上が実現せず、結果として固定費負担が高くなり収益性が低下。
- 売上収益の回復に時間を要している。足元で見込まれる売上を前提に目標とする利益を出せるよう、損益分岐点を引き下げている。
  - 欧州での事業構造改革
  - 主要な製造拠点である中国での人員適正化
  - 組織体制の変更
- 獲得案件のパイプラインはグリーン関連を中心に積み上がってきている。世界的に拡大が見込まれる電力供給インフラ関連の需要を取り込んでいく。
  - 高効率化が求められるパワーグリッド / スマートグリッド関連
  - グリーン関連 (xEV, 急速充電器、蓄電池 etc.)
  - 次の成長領域 (医療、防衛、宇宙開発、AI関連、データセンター、風力、特殊車両 etc.)
  - キーテクノロジーの開発 (オープンイノベーション)

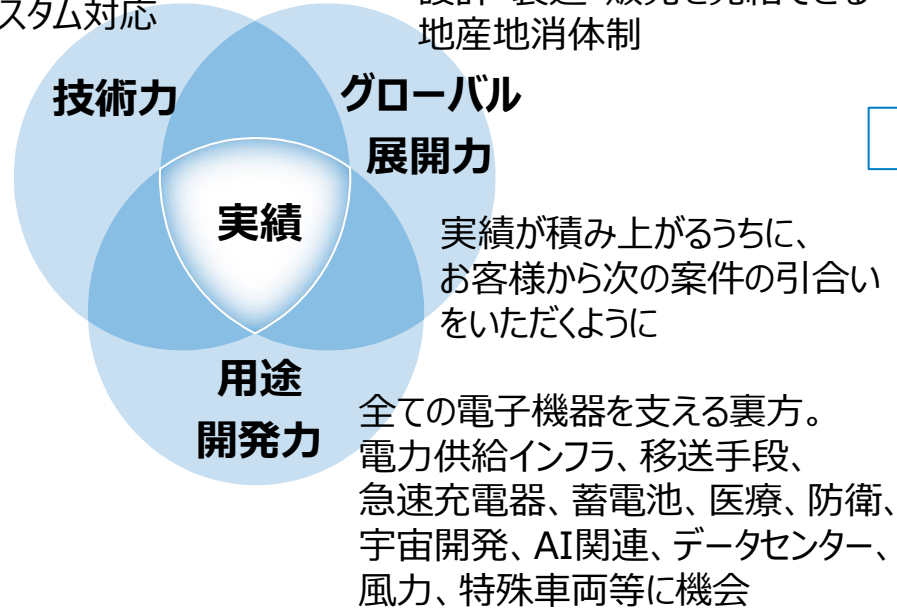
当社は技術力を磨きグローバルに展開しながら、創業から一貫してコイルの新たな用途を開発し続けてきた。各地域・市場において主導的な地位にある顧客との取引実績を築き、継続的に引合いをいただいている。

## 当社の強み

コイルはあらゆる電子機器に欠かせない、用途無限の部品

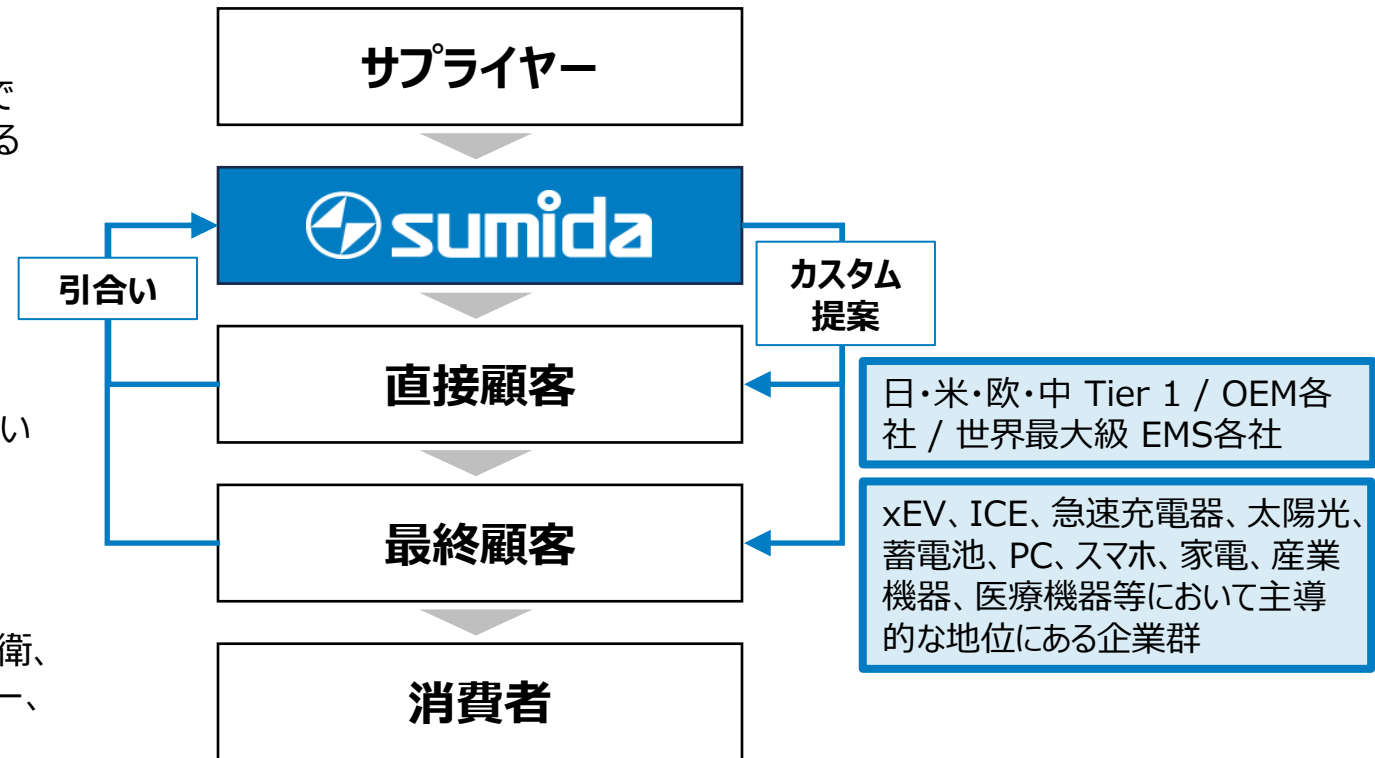
「巻き線」技術を中核とした引き出しの多さで、あらゆるご要望にカスタム対応

アジア・欧州・北米の各域内で設計・製造・販売を完結できる地産地消体制

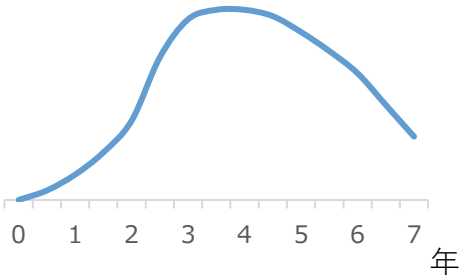
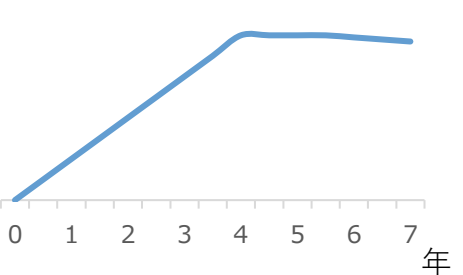
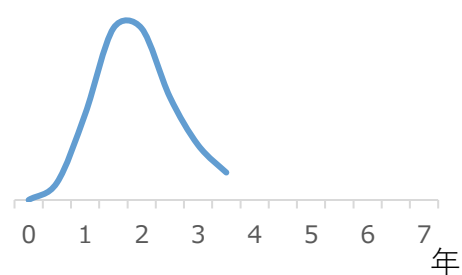


## 当社事業における商流

各地域・市場において主導的な地位にある顧客との取引実績



当社の手掛けるカスタム案件では、製品市場別に概ね以下のような時間軸で売上が計上される。

	車載	インダストリー	家電
案件獲得から売上計上までの期間	2~3年	2~3年	1~2年
	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>GREEN</b>  <b>1~2年</b> </div>		
生産開始後の売上推移 (イメージ)			
製品ライフサイクル (イメージ)	5年超	7年超	3年超



環境変化を機会と捉え、各地域それぞれのニーズ\*にきめ細かくカスタム対応する。

\* 世界全体: エネルギーインフラ更新・拡大、北米: 化石燃料回帰、中国: 内需拡大のインフラ投資

## 事業環境の認識

## 当社の対応

### 地球温暖化

- 脱炭素アプリケーション (xEV他)
- エネルギー源の多様化
- エネルギー消費量の増加
- 経済デカップリング
- 安全保障上の抑止力

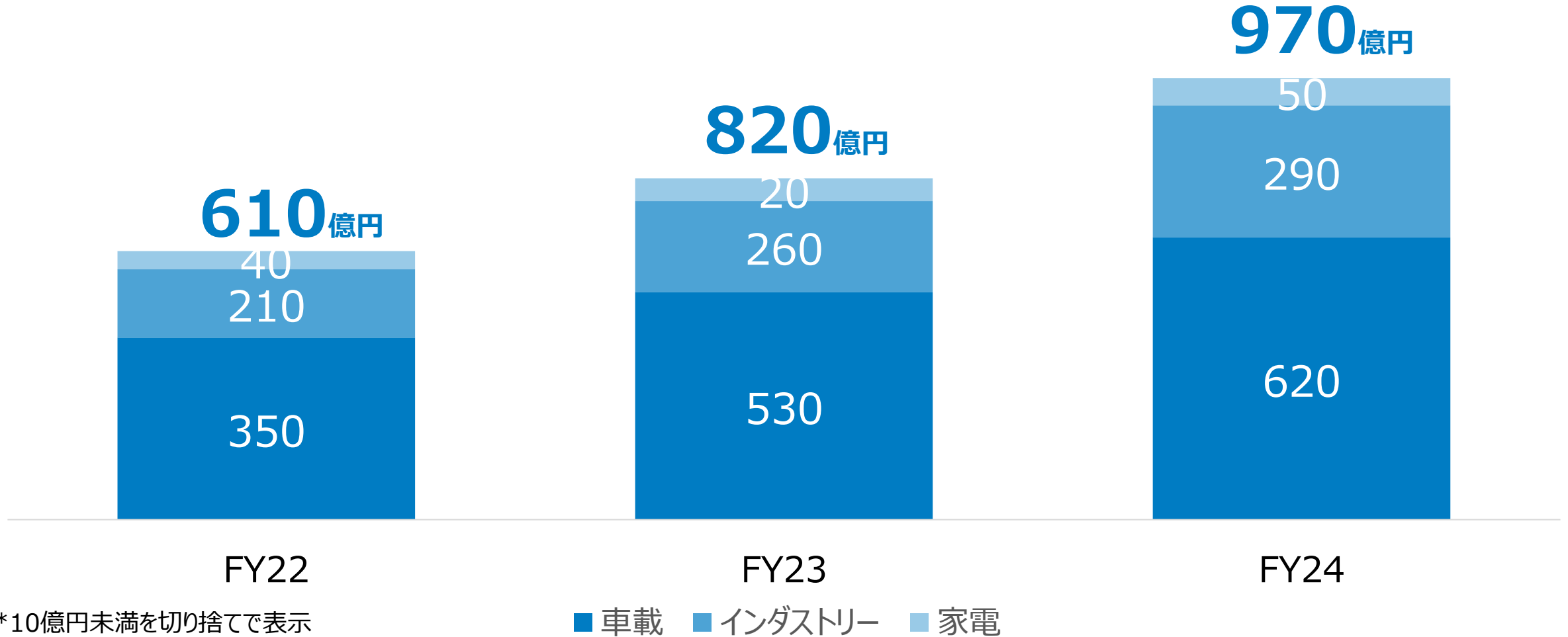
### 生成AI

### 自国第一主義

- 自動車、バイク、特殊車両、船舶などあらゆる移送手段
- 太陽光、風力発電
- 大容量電力の安定的且つ高効率な電力供給インフラ (グリッド)、蓄電池
- 「地産地消」 - 域内で完結するサプライチェーン

# FY2024 獲得案件概要

2024年は約970億円（ライフタイム）の新規案件を獲得。  
グリーンエネルギー関連の大型案件獲得が大きく寄与。



中期経営計画		2024 主な取組や結果	2025-2026	
地域戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国 生産能力の最適化</li> <li>北米 研究開発能力の更なる増強</li> <li>インド 新規案件獲得</li> <li>ベトナム 生産能力の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産能力の最適化を実施しながら、国内向け販売の強化を行う</li> <li>EV案件、急速充電器案件のDesign-Win</li> <li>二輪車案件のDesign-Win</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より広い敷地面積でコスト安のハイズオン省に建屋を建築中 2025年秋に稼働開始予定</li> </ul>	
	<b>メイド・イン・マーケット</b>			
製造戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造拠点の最適化を行う</li> <li>地政学リスクに対応できるように複数拠点での製造を可能にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に中国は、中国内 / 日本 / 一部欧州向け ベトナム・タイは、中国を除くその他の国向け 米国・メキシコは、米国向けとし、地政学リスクを考慮した製造体制の構築</li> </ul>		
	<b>設備投資</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業キャッシュフローの範囲内で前中計と同規模の設備投資を継続する</li> <li>製造設備投資エリア 車載、インダストリー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上に直結する設備投資は継続させながら、それ以外の投資を可能な限り後ろ倒しさせた</li> </ul>		
	<b>原材料購買</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国一辺倒リスクの回避とコスト削減を目指しASEAN地域でのサプライヤーを増やす</li> <li>温室効果ガス削減を達成するため、ベストなサプライヤーを選定していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナムでの材料、設備の調達と前工程（成型・プレス等）の内製化を推進</li> <li>GHG排出量の可視化、削減、進捗管理を求めている</li> </ul>		
	<b>人件費（DLコスト）</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>賃金上昇を上回る生産性向上を実現する</li> <li>自動化を継続して行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ムダ取り活動や品質ロスの改善で生産性を向上</li> <li>当社の強みである半自動も含めて自動化を推進</li> </ul>			
<b>固定費</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>DXを活用し、事業規模が大きくなっていく中でも人件費増を制御しつつ業務を遂行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT投資の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>– 主な用途はMES(製造実行システム)と、データ入力を減らすためのPDA(携帯情報端末)</li> </ul> </li> <li>生産性改善の結果、間接人員の減少</li> </ul>			

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

前期においてはPER全体に課題があると分析していましたが、今期においてはROEの向上が重点課題であると分析しています。収益性、安定性、成長性の観点から、① 欧州での構造改革、② 中国での間接人員の適正化と経費抑制、③ 製品用途の多様化と顧客の分散による収益源の多様化に取り組んでいます。

**PBR** = **0.5倍**

**ROE** **1.0%**

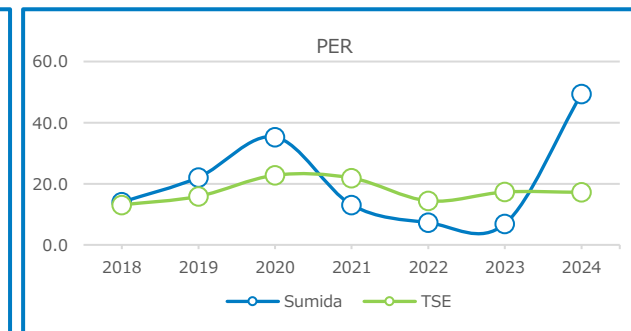
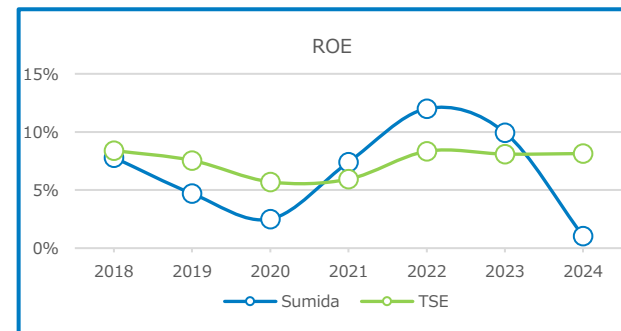
株主資本コスト - 期待成長率

**9.3%** - **7.3%**

**1 / PER**

**2.0%**

	FY23	FY24
PBR	0.7	0.5
ROE	9.9%	1.0%
PER	6.9	49.4
株主資本コスト	8.9%	9.3%
期待成長率	-5.3%	7.3%



	中期経営計画 取組記載事項	実施状況
株主還元の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 配当性向を30%以上に（DOEを勘案）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「配当性向30%以上」に加えて、DOE 3.0%を示した</li> </ul>
IR活動の強化 開示の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機関投資家向け個別面談、個人投資家向けIR活動</li> <li>• グリーンエネルギー関連、EPS、ROE、ROIC、FCF等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 個人投資家向けIRを開催</li> <li>• 決算説明資料、決算説明会書き起こしの日英同時開示</li> <li>• 獲得済案件の概要/定量情報の開示</li> <li>• Factbookの開示</li> </ul>
地産地消の更なる 推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 為替影響を軽減→安定FCF創出による財務体質を改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 為替リスクと金利の最適化の推進</li> <li>• 外貨建て有利子負債比率の低減 FY21 約95%超 → FY24 約82%</li> </ul>

1. 業績概要（FY2024.4Q & 通期）
2. 中期経営計画2024-2026の進捗について
- 3. FY2025 業績予想**
4. Appendices

市場環境は依然と厳しい見込みです。  
FY2024に実行した事業構造改革の効果等により、増益の計画です。

\* 本業績予想は顧客からの品名別見込みをベースに作成しています

		FY24 実績	FY25 予想	前期比
売上高	百万円	143,978	144,000	+0.0%
営業利益	百万円	4,513	7,000	+55.1%
税引前当期利益	百万円	1,295	4,080	+214.9%
当期利益 <sup>*1</sup>	百万円	590	3,200	+441.5%
EPS <sup>*2</sup>	円	17.96	96.83	+439.1%
営業利益率		3.1%	4.9%	+1.7pt
当期利益率		0.4%	2.2%	+1.8pt

為替レート <sup>*3</sup>	米ドル	円	150.95	145.00	-3.9%
	ユーロ	円	163.78	159.50	-2.6%
	人民元	円	20.97	20.40	-2.7%
銅価格 <sup>*4</sup>		USD/ton	9,144	9,500	+3.9%

\*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益

\*2 基本的1株当たり当期利益

\*3 実績については期中平均為替レート

\*4 実績についてはLME市況値（対象期間各月平均の単純平均） LME: London Metal Exchange ロンドン金属取引所

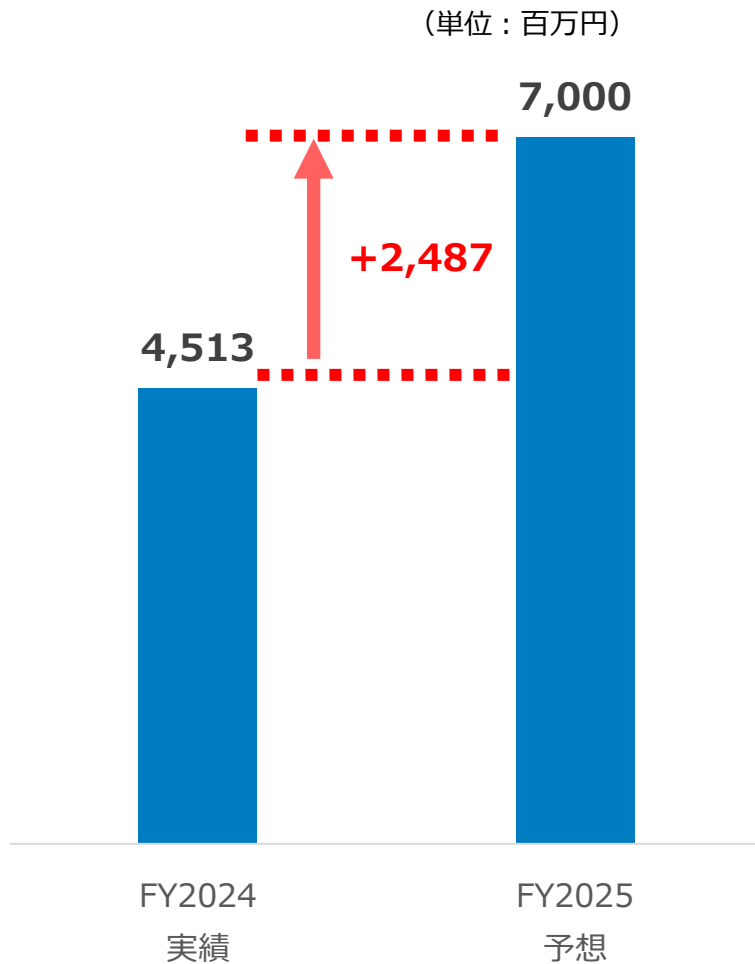
# FY2025.12 連結業績予想（市場別）

市場環境は依然と厳しく、前期比で横ばいの見通しになります。  
インダストリー市場、家電市場の落ち込みを車載市場がカバーする形になります。

		FY24	FY25	
		実績	予想	前期比
市場別				
車載	百万円	87,893	91,000	+3.5%
インダストリー	百万円	36,314	33,800	-6.9%
家電	百万円	19,770	19,200	-2.9%
計	百万円	143,978	144,000	+0.0%

# FY2025.12 営業利益予想増減要因分析

(単位：百万円)

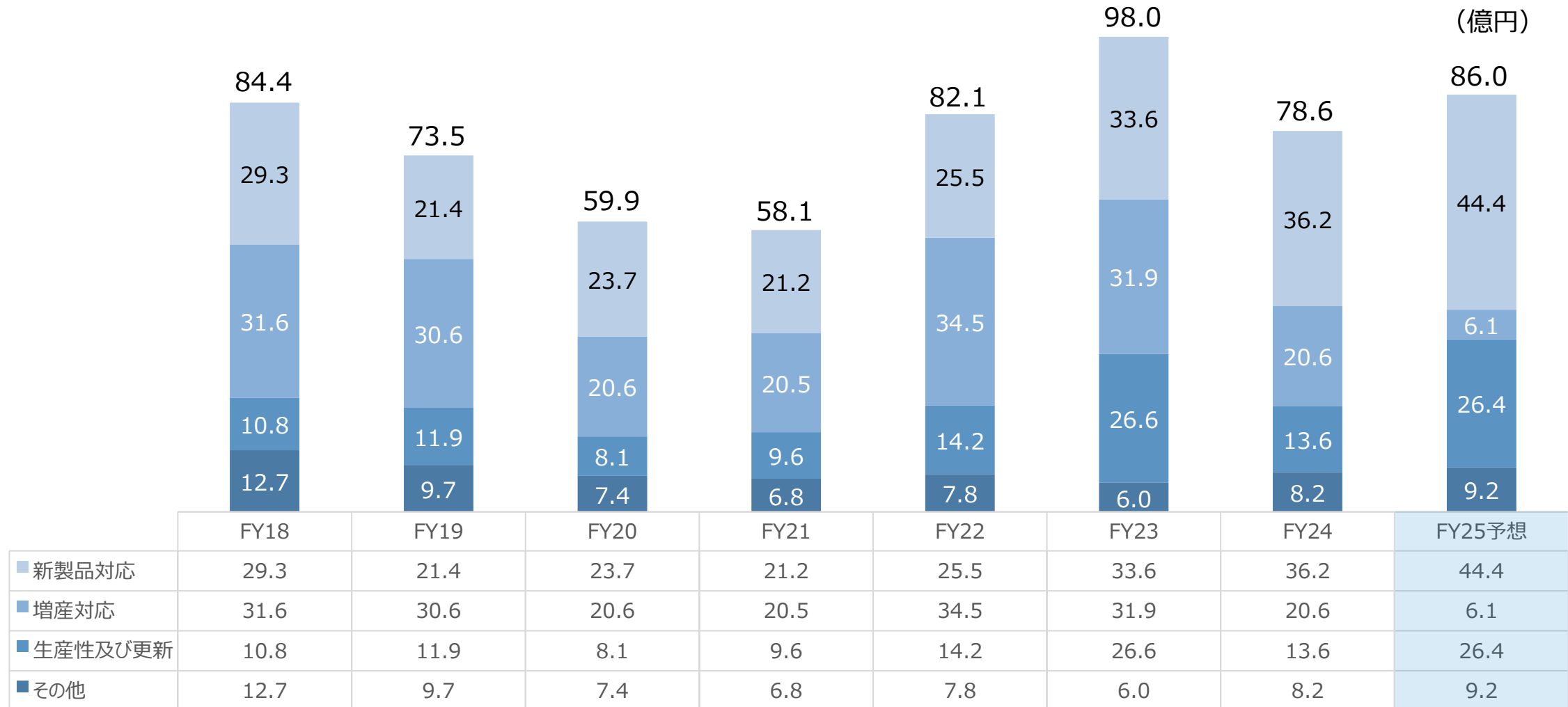


<b>増益要因</b>	FY2024 欧州における事業構造改革費用 (一時的要因)	1,086
	欧州における事業構造改革効果	1,600
	原材料費の低減	980
	生産効率の向上	662
	増収効果	536
	製造間接費の減少	449
	中国生産能力の最適化	200
	為替の影響	65
	<b>5,578</b>	
<b>減益要因</b>	賃金の増加	-1,048
	研究開発費の増加	-638
	経費増	-630
	EU時短勤務 (FY2024)	-439
	人件費の増加	-284
	その他	-52
	<b>-3,091</b>	
<b>増減</b>		<b>2,487</b>

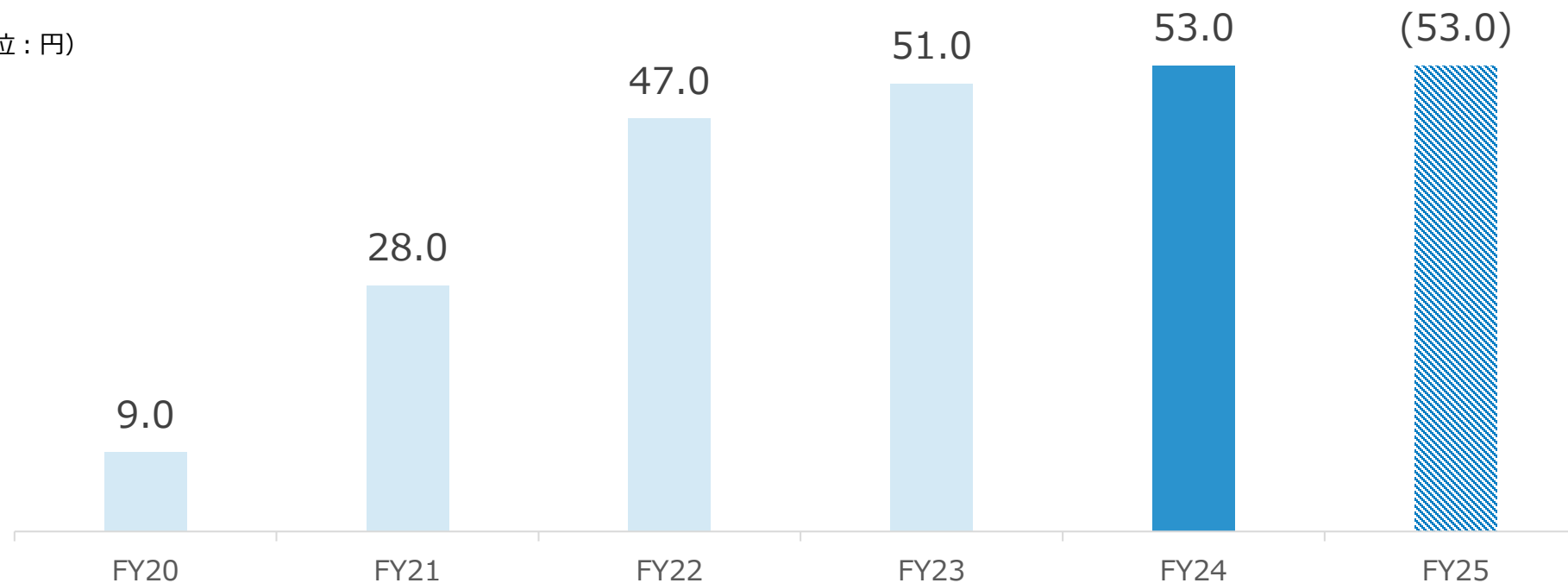


# FY2025 設備投資計画

2024年は売上に直結する設備投資は継続し、それ以外の投資は可能な限り後ろ倒しさせました。  
顧客からの新規案件受注は引き続き好調なため、2025年も新製品関連へ投資する計画です。



(単位：円)



		FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25
通期	円/株	9.0	28.0	47.0	51.0	53.0*	(53.0)
EPS	円	30.50	96.68	187.54	167.46	17.96	(96.83)
配当性向	-	29.5%	29.0%	25.1%	30.5%	295.1%	(54.7%)
配当総額	百万円	244	761	1,278	1,664	1,750	(1,751)
DOE	-	0.7%	2.1%	3.0%	3.0%	3.1%	(3.0%)

\* FY24の53円は、第2四半期末の26円と期末の27円（予定）の合計期末配当は予定であり、2月21日に開催する取締役会において確定します。

\*上記括弧内は予想値

2月7日開催の取締役会において、下記のとおり配当政策の変更を決議いたしましたのでお知らせいたします。

資本コストや株価を意識した経営の実現のために、持続的な利益成長を通じて株主還元を充実させていくことが重要との観点から、配当の安定性及び予見可能性の向上をさらに明確にするために、株主資本配当率（DOE）の具体的な水準を**3%**といたします。

変更前*	変更後
<p>当社は株主の皆様に対する利益還元として、配当による利益の配分を最優先に考え、連結配当性向30%以上を勘案した配当を実施することを基本方針としています。なお、実際の連結業績により、この基本方針による配当が適切でない場合には、<u>株主資本配当率（DOE）等</u>も考慮した上で、剰余金分配可能額の範囲で株主還元の充実を図っていきます。</p>	<p>当社は株主の皆様に対する利益還元として、配当による利益の配分を最優先に考えており、連結配当性向30%以上を勘案した配当を実施することを基本方針としています。なお、実際の連結業績により、この基本方針による配当が適切でない場合には、<u>株主資本配当率（DOE）3%等</u>も考慮した上で、剰余金分配可能額の範囲で株主還元の充実を図っていきます。</p>

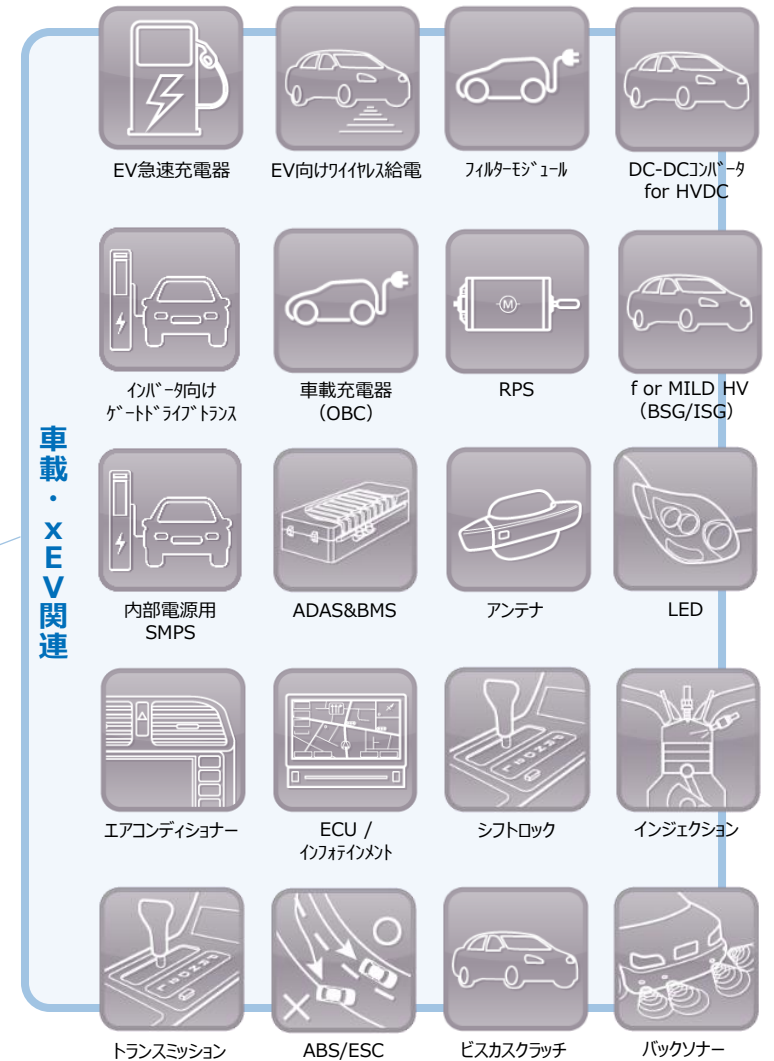
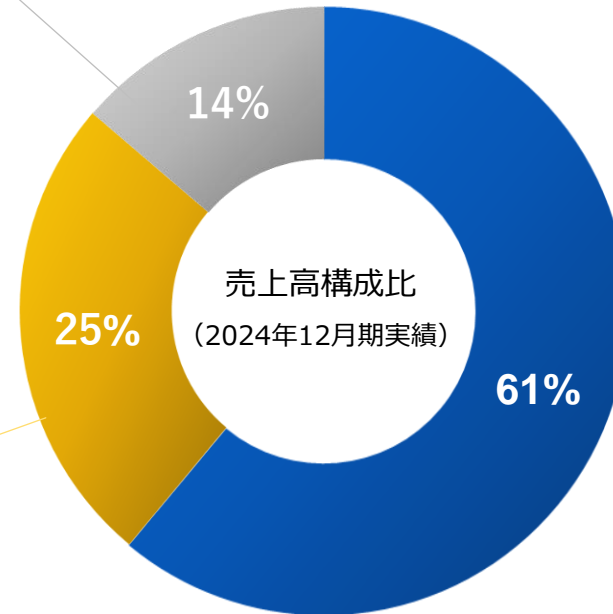
\* 第69期 定時株主総会 招集通知より

\* 当社は会社法第459条に基づき、6月30日、12月31日を基準日として、取締役会の決議により剰余金の配当をすることができる旨を定款に定めています

1. 業績概要（FY2024.4Q & 通期）
2. 中期経営計画2024-2026の進捗について
3. FY2025 業績予想 / 配当予想
4. **Appendices**



■ 車載市場 ■ インダストリー市場 ■ 家電製品市場





携帯電話の充電器



AED（自動体外式除細動器）



太陽光発電装置



自動車（キーレスエントリーシステム）



自動車（ABS：アンチロック・ブレーキシステム）



自動車（xEV パワートレイン）

## 中期経営計画2024-2026 取り組み課題

1. SUMIDAグループの技術開発と製品を通して二酸化炭素削減に貢献する
2. 資源の有効活用、廃棄物の削減、代替エネルギーの活用を推進して業務を遂行する
3. SUMIDAグループのあらゆるステークホルダーと共に国連開発計画が策定した17の持続可能な開発目標を達成する努力をし続ける

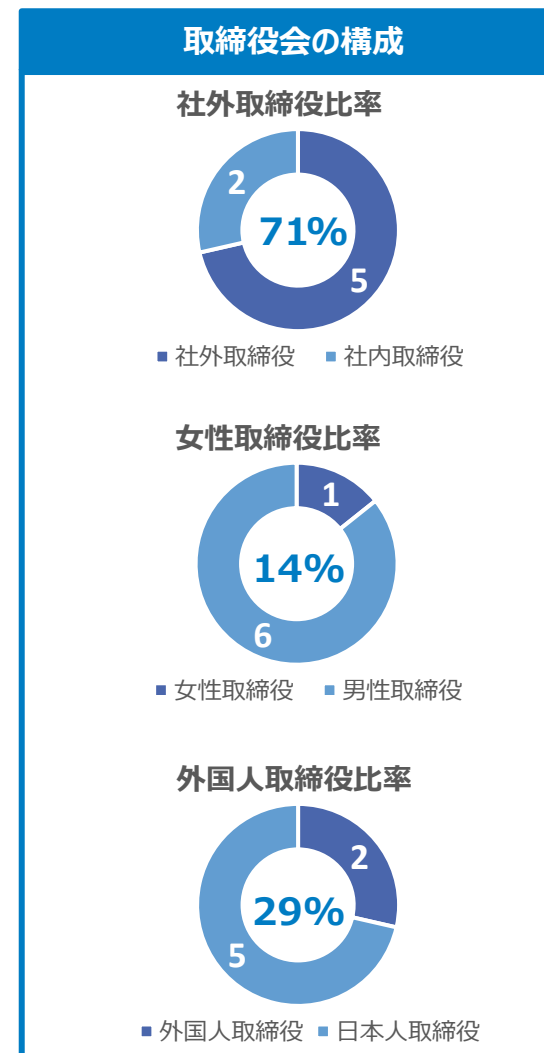
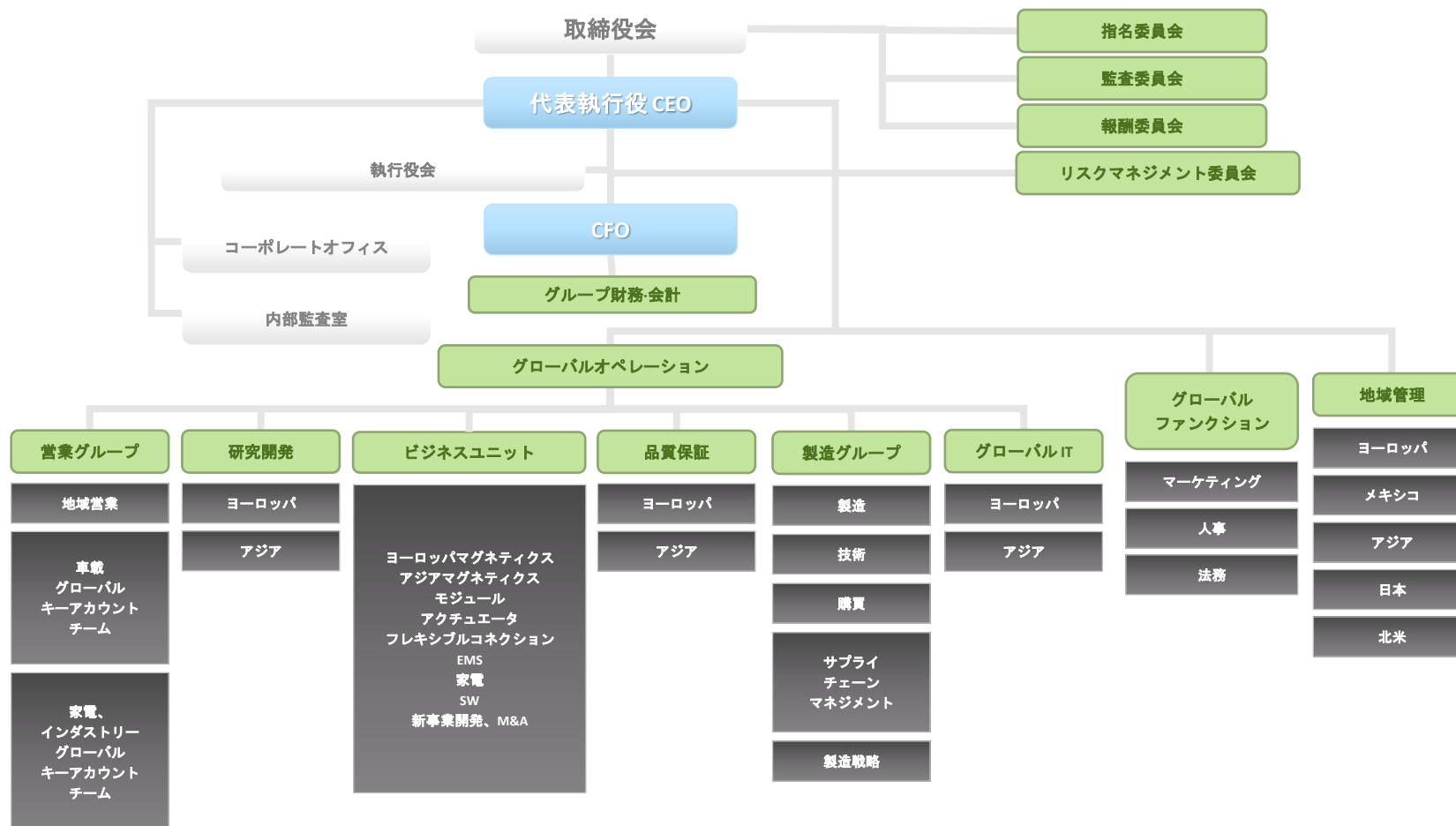
当社グループは、2030年度の温室効果ガス (Scope 1&2) を2022年比42%削減することを目指します。

## 2024年実施事項

- ✓ 2030年までにスコープ1と2の排出量を42%削減するための行動計画を拠点ごとに実施
- ✓ プロダクト・カーボン・フットプリント (PCF) の測定方法と削減計画について話し合う、グローバルな「design4sustainability」ワークショップを定期的で開催 (2024年 開催回数 2回)

詳細については、3月下旬から4月上旬に発行予定の2024年 スミダESGレポートで報告いたします。

- ✓ SUMIDAは日本国内上場企業で最初に会社法上の機関設計として「指名委員会等設置会社」を採用しています
- ✓ 法定3委員会（指名・監査・報酬）の議長は独立社外取締役が務め、委員の過半数を独立社外取締役としています
- ✓ 取締役会及び指名・報酬委員会は全て英語で実施されます





# 業績推移 (地域別 / 市場別 / グリーンエネルギー関連売上)

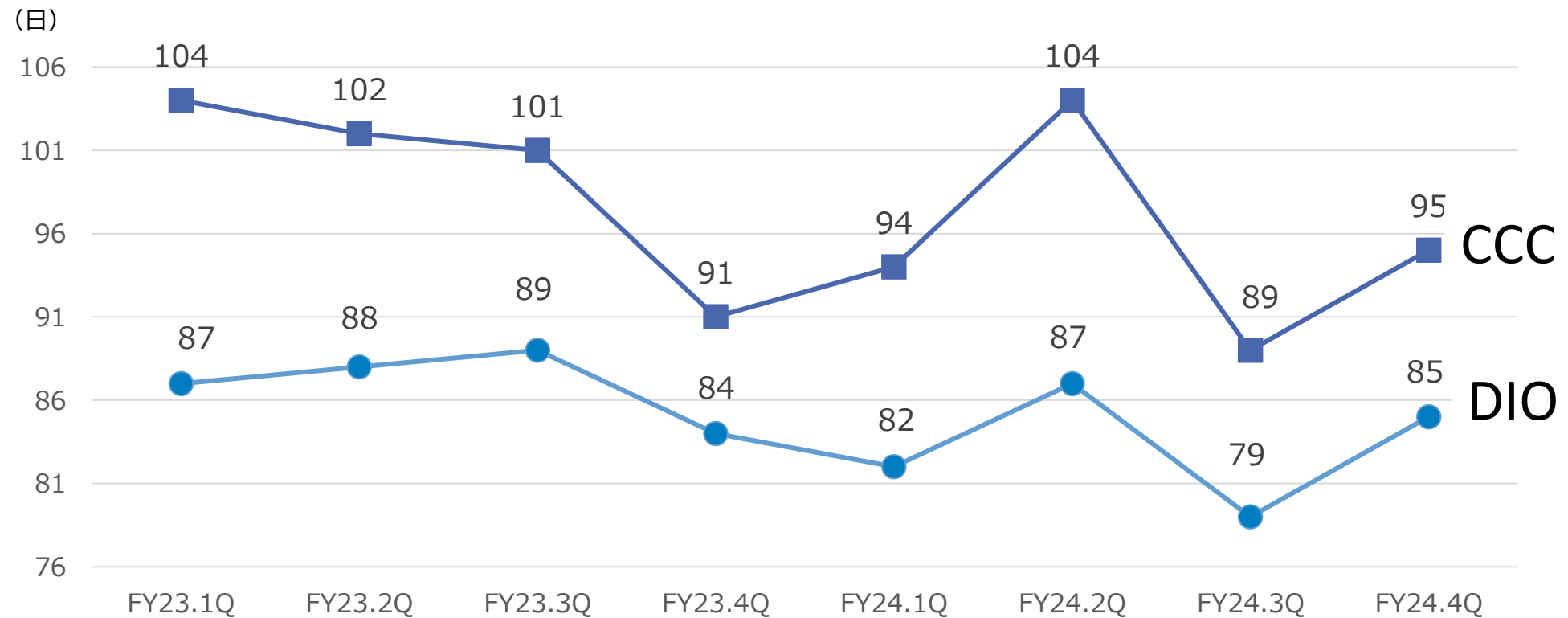


		FY23				FY24				FY23	FY24
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	Full	Full
地域別											
Asia - Greater China	百万円	7,823	8,357	8,847	9,680	8,814	9,382	9,100	9,448	34,709	36,744
Asia - Others	百万円	6,418	6,806	6,425	5,584	5,541	5,800	5,664	5,678	25,234	22,685
North America	百万円	6,116	6,781	6,275	5,422	5,737	6,681	7,099	7,084	24,596	26,603
Europe	百万円	15,194	15,716	16,168	16,051	16,220	14,888	14,605	12,230	63,132	57,944
計	百万円	35,552	37,662	37,718	36,739	36,313	36,752	36,469	34,442	147,672	143,978

市場別											
車載	百万円	21,278	20,674	22,007	22,905	22,886	22,540	22,583	19,883	86,865	87,893
インダストリー	百万円	9,051	11,056	10,374	9,633	9,360	8,857	8,625	9,471	40,116	36,314
家電	百万円	5,222	5,932	5,335	4,200	4,066	5,355	5,261	5,087	20,691	19,770
計	百万円	35,552	37,662	37,718	36,739	36,313	36,752	36,469	34,442	147,672	143,978

グリーンエネルギー関連売上											
xEV - 車載	百万円	5,338	4,411	5,061	5,271	4,857	5,059	5,478	4,949	20,083	20,345
xEV - インダストリー (急速充電器等)	百万円	1,134	2,755	1,877	2,272	2,623	2,874	2,811	1,808	8,040	10,117
その他 (太陽光発電、蓄電池等)	百万円	1,650	2,137	2,633	2,244	2,031	1,426	1,493	3,536	8,666	8,487
計	百万円	8,123	9,304	9,572	9,788	9,512	9,361	9,783	10,293	36,789	38,950
グリーンエネルギー関連売上の売上収益比		22.9%	24.7%	25.4%	26.6%	26.2%	25.5%	26.8%	29.9%	24.9%	27.1%

# CCC / 在庫回転日数 (DIO)



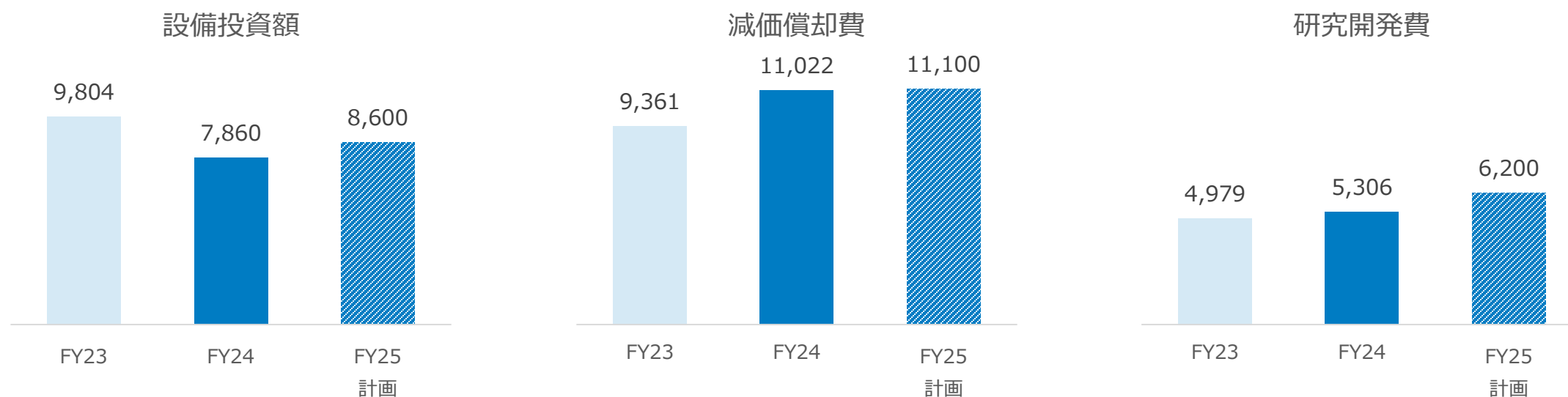
期末為替レート

米ドル/円	133.13	144.85	148.77	141.51	151.43	160.93	142.36	156.15
ユーロ/円	144.90	157.23	157.97	156.54	163.36	172.14	159.05	162.70
人民元/円	19.37	19.94	20.40	19.90	20.86	22.03	20.42	21.34

# 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(単位：百万円)

	FY23 実績	FY24 実績	FY25 計画
設備投資額	9,804	7,860	8,600
減価償却費	9,361	11,022	11,100
研究開発費	4,979	5,306	6,200



計算対象期間 3カ月（2024年10月～12月）

通貨	FY24.4Q 為替レート*1	対円貨変動幅	営業利益への影響	FY24 業績予想*2 前提為替レート
	円	-	百万円	円
米ドル	149.67	1円円安	+55	152.48
ユーロ	162.04	1円円安	+8	160.36
人民元*2	20.98	0.1円円安	-30	21.02

計算対象期間 12カ月（2025年1月～12月）

通貨	FY25 為替レート	対円貨変動幅	営業利益への影響*1
	円	-	百万円
米ドル	145.00	1円円安	+234
ユーロ	159.50	1円円安	+15
人民元*3	20.40	0.1円円安	-75

\*1 為替レート：計算対象期間の平均レートを参考値として記載しています

\*2 2024年12月13日開示 業績予想

\*3 主要な生産拠点が中国。人民元が生産に係る主な通貨となるため、為替感応度をマイナス表示

今回よりFactbookをWEB開示しております。売上の内訳や財務数値の推移を掲載していますのでご参考ください。

IRライブラリー	IR Document Archive	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
中期経営計画説明資料	Mid-Term Business Plan	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
個人投資家向け会社説明会資料	Briefing Session for Individual Investors	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
<b>Factbook</b>	<b>Factbook</b>	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
スミダESGレポート	SUMIDA ESG Report	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
ESG Data	ESG Data	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
TCFDに基づく情報開示	Climate-related Financial Disclosure based on TCFD	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
コーポレートガバナンス報告書	Corporate Governance Report	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>
会社案内ビデオ（270秒）	Corporate Video (270 sec)	<a href="#">JP</a>	<a href="#">EN</a>

# ご注意

## 将来予測に関する記述

当資料に掲載されている記述には、当社の将来予測に関する記述が含まれています。これらの将来予測に関する記述は、当社が現時点で入手した情報に基づくものです。従って、予期せぬ事象の発生及び経営環境の変化（世界経済情勢、事業構造、競争状態、技術動向、公的規制、社会環境・労働環境等によるものを含みます。）等の要因によって、実際の結果がこれらの将来予測に関する記述と異なる結果となる可能性があることをご了承ください。また、当社は、実際の結果が将来予測に関する記述と異なる結果となった場合でも、将来予測に関する記述を修正して公表する義務を負うものではありません。また、そのことに付随して発生したいかなる損失、損害にも責任を負いません。

本資料の著作権は、当社に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

なお、本資料では百万円単位で管理している原数値を億円単位で表示している場合があり、合計額、差額等が不正確な場合があります。詳細な数字が必要な場合は決算短信を参照していただきますようお願いいたします。

Global | Speed | Focus  sumida

